

北海道自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 辻 澤 英 隆
札幌市東区北三ノ東一(郵便番号) 005-0003
電話 (011) 721-4578

自動運転サービスの早期実用化へ検討会

官民連携でインフラ支援 物流や地域の課題解決

政府

政府は、自動運転に必要な道路や情報通信といった社会インフラのあり方を考える検討会をこのほど立ち上げた。路車協調システムなどの技術基準をつくり、自動運転サービスの早期実用化につなげて物流や地域公共交通の課題解決を目指す。

「自動運転インフラ検討会」(座長・羽藤英二(東京大学大学院教授))の初会合を6月27日に開催。自動運転車に対する高速道路と一般道路におけるインフラ支援と、道路交通情報報をリアルタイムに提供するための体制やルールづくりを担う。具体的な検討事項として、路車協調システムや自動運転車優先レーンなどの道

日本版ライドシェア

12地域で制度改善

雨天時のタクシー不足解消へ

国土交通省は、タクシー事業者の下で一般ドライバーが自家用車で有償運送を行う「自家用車活用事業(日本版ライドシェア)」について、雨天時の運行制限を緩和した。東京都や大阪市などの12地域で、1時間5.5分以上の降水量が予想される場合、従来の運行可能時間(平日午前7～10時台など)以外の時間帯でもライドシェア車両の運行を可能にした。雨天時に需要が増加するタクシーの供給不足解消につなげる狙いだ。

24時間先までの降水量予報が1時間帯おおよそ前後1時間前(ライドシェア車両の運行を可能にした)に、雨天時に需要が増加するタクシーの供給不足解消につなげる狙いだ。

自動運転に必要なインフラの検討事項

①路車協調システム
合流支援情報提供システムの技術基準など
交差点センサーなどの技術基準など
②情報通信インフラ
ユースケース(遠隔監視、先読み情報など)に応じた情報通信インフラのあり方
③道路交通情報
収集・提供体制(路側カメラ・センサーの充実、車両データの活用など)
情報提供(信号情報、規制速度、CCTV映像、車線別情報など)
収集・提供に関するルール
④走行空間
自動運転車優先レーンの効果
切替地点など自動運転に必要な施設
自律走行の助けとなる道路上の対応(導流表示など)
⑤道路、交通管理など
高速道路における遠隔監視・緊急時対応などのあり方
車両データの収集・活用
⑥インフラ展開方針
サービスユースケース、車両データなどを踏まえたインフラの展開方針
出典:国土交通省「自動運転インフラ検討会」の資料

間5.5分以上となった場合、その時間帯おおよそ前後1時間前(ライドシェア車両の運行を可能にした)に、雨天時に需要が増加するタクシーの供給不足解消につなげる狙いだ。

視線

バレーボールの日本代表チームが男女とも大活躍している。特にエースアタッカーが躍動する姿は頼もしい。ある代表との雑談で「バレーはトスを上げるセッターが重要」との話があった。平均身長が低い日本が活躍しているのは、トス能力の差が大きく関係しているという。

チームのメンバーにはそれぞれ役割がある。最近ディーラーでも個人プレーではなくチームで活動して店の力を最大限発揮しようという体制づくりの模索が見られる。セールスのどこに向けて、どんなトスを送れるかで業績に差がつくのかもしれない。

VRで外国人観光客の事故防止 千歳市で実証実験

外国人観光客による交通事故防止にVR(仮想現実)を活用する実証実験が千歳市で行われた。秋田大学の浜岡秀勝教授や北海道大学高橋翔准教授らで構成するプロジェクトチームは7月上旬、トヨタレンタリース札幌(相茶省三社長)の新千歳空港ポプラ店からレンタカーを利用する外国人を対象に、市街地と郊外の運転をVRで事前に経験できるシミュレーターを試した。今後利用者の活用を検討する。「V2X通信」による路車間協調などの実現に当たっては、周波数割り当ての見直しなども必要となる。信号情報などの提供体制やルールのあり方は警察庁と総務省が連携して検討する。



外国人観光客による交通事故防止にVR(仮想現実)を活用する実証実験が千歳市で行われた。秋田大学の浜岡秀勝教授や北海道大学高橋翔准教授らで構成するプロジェクトチームは7月上旬、トヨタレンタリース札幌(相茶省三社長)の新千歳空港ポプラ店からレンタカーを利用する外国人を対象に、市街地と郊外の運転をVRで事前に経験できるシミュレーターを試した。今後利用者の活用を検討する。「V2X通信」による路車間協調などの実現に当たっては、周波数割り当ての見直しなども必要となる。信号情報などの提供体制やルールのあり方は警察庁と総務省が連携して検討する。

外国人観光客による交通事故防止にVR(仮想現実)を活用する実証実験が千歳市で行われた。秋田大学の浜岡秀勝教授や北海道大学高橋翔准教授らで構成するプロジェクトチームは7月上旬、トヨタレンタリース札幌(相茶省三社長)の新千歳空港ポプラ店からレンタカーを利用する外国人を対象に、市街地と郊外の運転をVRで事前に経験できるシミュレーターを試した。今後利用者の活用を検討する。「V2X通信」による路車間協調などの実現に当たっては、周波数割り当ての見直しなども必要となる。信号情報などの提供体制やルールのあり方は警察庁と総務省が連携して検討する。

令和6年 飲酒運転根絶!

高校生メッセージコンクール作品募集



「飲酒運転をしない、させない、許さない」を道民の合言葉として定着させ、北海道から飲酒運転を根絶する、その願いを道民みんなで実現していくため、(公社)北海道交通安全推進委員会では「飲酒運転根絶!高校生メッセージコンクール」の作品を募集しております。100文字程度の高校生らしいメッセージをお寄せください。なお、入賞作品は、全道及び地域FM等のラジオにおいて放送する等、様々な機会に活用させていただきます。

飲酒運転根絶! 高校生メッセージ
(令和5年度コンクール入賞作品から/北海道交通安全推進委員会)

(飲酒運転根絶アンバサダー「やべーや」特別賞)

1杯飲むことによって判断は鈍る。それほど酒は怖いもの。だから運転しないで。転んだ時にするけがと同じじゃない。お互いいやな思い出としてしか刻まれないから。め前の自分と向き合うと気づける。だからやめて。

(北海道根室高等学校1年(当時) 山野寺 煌 さん)

フルフラット可能な高速バス座席の安全対策検討

国土交通省は、シートバック(背もたれ)を大きく倒したり、フルフラットにできる高速バス座席の安全対策を検討する。こうした座席は長距離を走る高速バスで一定のニーズがあり、一部で実際に導入されている。ただ、現行の保安基準は着座姿勢を想定しているため、利用実態に合わせて安全対策を取る必要があると判断した。衝突試験などを経てこうした座席のガイドライン(指針)をまとめ、11月末までに公表するとしている。

国土交通省は、シートバック(背もたれ)を大きく倒したり、フルフラットにできる高速バス座席の安全対策を検討する。こうした座席は長距離を走る高速バスで一定のニーズがあり、一部で実際に導入されている。ただ、現行の保安基準は着座姿勢を想定しているため、利用実態に合わせて安全対策を取る必要があると判断した。衝突試験などを経てこうした座席のガイドライン(指針)をまとめ、11月末までに公表するとしている。

国土交通省によると、過去に行ったフルフラット座席などを利用した場合の衝突実験で、何も対策を取らない場合は①頸部・腹部への衝撃が大きくなるなど、通常の座席とは異なる傷害を受ける懸念があるという。ただ一方、長時間や夜間での移動が多い高速バスでは、仮眠を取るためフルフラットになったり、シートバックを最大限に倒したり、シートを踏まえ、フルフラットが可能な座席の開発を進めたり、一部では利用

を始めていくという。こうした実情を踏まえ、国土交通省はフルフラット状態にまでリクライニングした座席を模した衝突試験(UNIR80の要件を用いたスレッド試験)を実施する。衝突時の乗員挙動や傷害値を分析し、フルフラット座席などで考慮すべき安全対策を検討することにした。

物流業が倍増

24年1～6月の人手不足倒産 帝国データバンク

帝国データバンクがまとめた2024年上半期(1月～6月)の人手不足倒産の動向調査によると、人手不足倒産件数は182件で、前年同期に比べ1.65倍に増加。13年以降の最多件数を2期連続で更新した。従業員の高齢化、採用難、人件費高騰などを原因とする人手不足倒産は過去最多を上回るペースで推移している。企業規模別では「従業員数10人未満」の小規模事業者の倒産件数が最大の143件で、全体の8割を占めた。

産業別では、4月から時間外労働の上限規制が適用された運輸業務や建設業務を生業とする企業の倒産が多い。建設業の倒産件数は53件、物流業の倒産件数は27件で、いずれも上半期としては過去最多となった。

物流業の人手不足倒産は、前年同期の15件からほぼ倍増した。帝国データバンクは「多くの産業が関わるバリューチェーンのなかで、基盤となる物流業に支障が生じれば、対応に迫られる必要性も増してくる」と指摘した。実際、すでに62.7%の企業が「2024年問題に際して物流面の対応を行う」と答えている。

依然として人手不足感強いものの、5月の労働力調査(厚生労働省)によると、就業者数は6766万人で、22カ月連続で前年同月を上回った。ただ、労働市場の流動性も高まっており、就業条件や待遇などにより「今後も小規模事業者を中心に倒産に追い込まれるケースが増加する可能性がある」と指摘している。

小中学生対象に交通安全の作文募集

警察庁など



令和6年度交通安全ファミリー作文コンクール。応募期間は令和6年7月5日(金)～9月13日(金)。小学生の部と中学生の部があり、各賞状が送付される。入賞作品は、警察庁ウェブサイト「交通安全ファミリー作文コンクール」に掲載される。

警察庁、全日本交通安全協会、三井住友海上福祉財団、日本交通安全教育普及協会は、令和6年度「交通安全ファミリー作文コンクール」の作品を9月13日まで募集する。家庭や学校、地域などで交通安全について話し合ったことや実行していることを題材とし、「小学生の部」「中学生の部」の2部門で優秀作品を選ぶ。文字数は1200字(400字詰原稿用紙3枚)程度。小学生1、2年生は400～1200字、小学生3～6年生は800～1200字程度でも受け付ける。自筆のほか、電子ファイル(マイクロソフトワード形式)でも応募が可能。最優秀受賞者は、2025年1月に都内で開く第65回「交通安全国民運動中央大会」で表彰する。

運送事業者の行政処分を見直し

飲酒運転や長時間労働など厳罰化 国土交通省

国土交通省は、運送事業者に対する行政処分の基準を見直す。飲酒運転や長時間労働などで違反が判明した際の行政処分を厳しくする。法令違反を繰り返す悪質な運送事業者を排除するのが狙い。パブリックコメント(意見募集)を経た後、改正した関連通達などを発出し、周知期間を設けた上で2025年1月から施行する方針だ。

「2024年問題」への対応などをまとめた、政府による「物流革新に向けた政策パッケージ」に基づく取り組みの一環となる。安全のためのコストを軽視したり、長時間労働が常態化している悪質な運送事業者が利益を得るといったモラルハザードの防止につなげる。

トラック、バス、タクシーすべて

の運送事業者を対象に、飲酒運転事案に関する行政処分基準を強化する。飲酒運転が行われた上で、かつ飲酒運転禁止の「指導監督義務」や「点呼が未実施だった際の行政処分項目を新設する。いずれも法令違反が確認された営業所では、初めての違反で「100日車」を繰り返すと「200日車」の車両停止処分を出す。

トラック事業者に対しては、労働基準法や改善基準告示に基づく労働時間の順守違反と点呼未実施の処分を重くする。トラックドライバーの労働環境や待遇の改善、安全運転の確保などにつなげる。

労働時間の順守違反では、現行の「未順守計6件以上15件以下」と「未順守計16件以上」の2項目を、新たに「未順守計6件以上」に集約

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。

北自共の総合自動車共済・自賠償共済

全道に安心のサービス拠点

1事故1担当者制
1つの事故に対して1人の専任担当者が担当

充実のロードサービス
24時間365日対応・等級に影響なし

安心の事故対応力
事故解決の専門家が素早く対応

旭川 北見 札幌 帯広 室蘭 函館

あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!

北海道自動車共済協同組合
〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

☎011-721-5233 FAX:011-721-0801
電話の受付時間 平日9:00～17:15 <https://www.hokujikyo.jp>

新しい技術と信用のトップメーカー

自動車ナンバープレート

小松自動車工業株式会社

札幌営業所 札幌市東区北30条東1丁目1-1
及工場 〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社 東京都品川区東品川4丁目8番12号
及工場 〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

EV救援体制強化に向け給電装置の公開テスト

JAF札幌・札幌トヨタ

日本自動車連盟(JAF)札幌支部と札幌トヨタ(相模原三倉長兼社長)は、電気自動車(EV)の救援体制強化に向けて、同支部が道内初導入した給電装置の公開テストを札幌市宮の森で実施した。電欠状態を整えるため、札幌トヨタからの呼びかけで実施した。公開テストでは、JAF札幌支部が3月に道内で初めて導入した可搬型EV充電器と可搬型EVバッテリーを搭載したサードピスカーが札幌市宮の森を訪れ、駆動用バッテリーの残量がゼロとなった車両に充電した。



救援専用の充電器を使い電欠したEVへの充電を試した

可搬型EV充電器を通じてEVから電欠車両に充電する方法も試した。公開テストでは、満充電の「RZ」から電欠した「UX300e」に充電できることを確認。ディーラー拠点にあるEVでユーザーの電欠を給電するために必要な装備、環境などを確認した。国内の自動車メーカーでも徐々にEVラインナップが増える中、購入者が安心して利用するためには、電欠時の救援体制の構築が不可欠になる。札幌トヨタの杉本尚彦札幌営業部長は「EVを訴求する上で購入に向けて一番のネックになるのが充電環境。普及には、いざという時に救援してもらえという安心感が必要」と強調した。

JAF札幌支部では今回のテストを踏まえ、一般向けのEV救援を本格化する。将来的には救援用のバッテリーパックを各ロードサービス基地に配備し、救援依頼に連続対応可能にする計画だ。

EVの大容量電力で快適な野外活動

自動車メーカーが「東京アウトドアショー」で提案

アウトドアを楽しむユーザーに、電気自動車(EV)を提案する動きが活発になってきた。大容量の駆動用電池を持ち、そこから外部に電力を取り出せるEVは、調理器具をはじめ多くの家電を動かせる。さまざまな野外活動を快適に行えるように



気軽なアウトドアを提案したホンダ「N-VANe」



電動アシスト自転車とセットで展示したスバル「ソルテラ」

なることから、新たなファンを獲得にもつなげやすい。幕張メッセ千葉市美浜区で開かれた「東京アウトドアショー2024」でも、EVの特徴を生かして多様な楽しみ方を紹介する自動車メーカーが多かった。今回のショーには、国産車と輸入



航続距離をアピールしたVW「ID.4」



レジャーらしい展示で会場を盛り上げたBYD「アット3」

近距離移動に使う電動アシスト自転車や電池切れの心配なく遊べるスタイルを演出し、「EVがあればアウトドアの幅が広がる」(担当者)点を訴えた。

一方、キャンプ場などのアウトドア施設は、遠方にあることが多い。長距離を走ったEVが先で電池残量が不足すれば、想定通りに外部給電機能を使えなくなるケースも想定される。そもそも、EVは航続距離や充電インフラに不安を抱えるユーザーが少なくない。こうした課題の解決に向け、メーカー各社は駆動用電池の容量を増やすなどし、航続距離を延長する改良を重ねている。会場でも فولクスワーゲン(VW)陣営が航続距離600キロ超のSU

クルマXアパレル異色のファッションショー

自動車デザイナー有志が主催

モビリティ産業とアパレルがコラボレーション。「タケオキクチ」や「アンタイトル」「インディヴィ」などのアパレルブランドを手掛けるワールドと、自動車メーカーのデザイナー有志で組織する「ジャパ・オートモティブ・インテリヤ



日産自動車は「布団から出られないズボラ女子」がテーマ。廃棄されるエアバッグや織物などを「布団風ドレス」に



今回のイベントは、ワールドとJ

AIIDの一部メンバーが交流したことがきっかけ。3年前から企画が動き始め、ようやく実現できたという。JAIIDの中嶋孝之氏(トヨタ自動車クルマ開発センタービジョンデザイン部長)は「普段は自動車という「硬い物体」をデザインしている。服とは作法が違う。ワールドの方々にアドバイスをいただきながら形にすることができた」と話す。普段、車内インテリアなどをデザインするため「人に近い部分はデザインしている」(中嶋氏)というが、「人の形にすること、身にまとって動くことを(アパレルでは)考えなければいけない。袖の形状が特に難しかった」と振り返った。



ホンダといすゞは、自動車の廃材に加えて、古着などを活用してつなぎを製作

今回のショーは、自動車などの廃材を活用することをテーマとした。「放る(捨てる)モン」にちなんで活用するレインコートを披露

ダイハツは、使わなくなったアナログレコードを用い、野外音楽フェスで活用するレインコートを披露

象徴的な姿の一つなのだろう。北海道と札幌市は、国の「GX(グリーン・トランスフォーメーション)金融・資産運用特区」に選ばれた。再エネ発電の整備だけでなく、水素の供給網構築も含まれる。GX特区は、道内の自動車業界にどういった影響をもたらすのか。注視する必要があると見せた。

現場探信

取材のため小樽市内の海水浴場を訪れる機会があった。広々とした砂浜から石狩湾新港方面に目を向ける

最近、老いを真剣に考えている。80歳を超え自活できなくなった親の面倒を見るようになった時、その身体や認知の衰えを目の当たりにして、なんともやるせない気持ちになった。◆そして選りすぐる自分なりの、眼のかすみを徐々にひびくようになっていく。◆それは親と同じ状態になるのである。◆漠然とした恐怖を感じる。◆車の運転には、今のところ支障はない。たが、高齢者がペダルの踏み間違いで事故「高速道路を逆走」といったニュースが流れるたびに、それが他人事とは思えなくなってきた。自分には関係ない」と

慢心していると、いつか何かの拍子で人様にご迷惑をおかけしてしまうのではと、そんな懸念を抱いてしまふ。◆車の運転の懸念は、技術が解決してくれると信じている。◆今だっ、衝突被害軽減ブレーキをはじめとした運転支援装置がある。ただ、一部の操作をフォローしてもらうだけで、認知の衰えた人が安全に運転できるのかと心配する自分がある。◆まだ、心配を払しょくできる技術になる。◆開発面や社会的受容性でさまざまな課題のあることは承知するが、自分がローンを組める年齢の間に実用化されることを切に願い、自動車メーカーの奮闘を期待する。